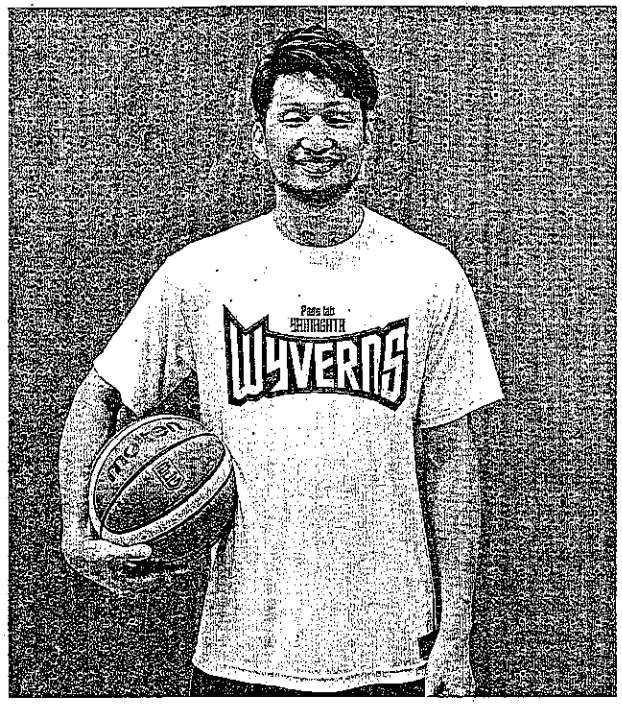
ぐるっと東北

母校をたずねる

一喜一憂せぬ精神力養う

パスラボ山形ワイヴァンズ主将　佐藤正成さん＝2009年度卒



プロバスケットボール男子のBリーグ2部（B2）、パスラボ山形ワイヴァンズ主将の佐藤正成さん（27）＝60期、2009年度卒＝は、チーム唯一の山形県出身選手です。佐藤さんは、県立山形南高時代について「バスケットにささげた3年間で、信頼できる仲間と出会い、僕の人生を良い意味で彩ってくれた」と振り返ります。【松尾知典】

県立山形南高 4

小学3年の時、2歳年上の姉の影響でバスケットを始めました。山形南高に入学したのは「チャラチャラしていないかっこよさ」が魅力的に映ったからです。

バスケ部の練習は、想像をはるかに超えて、ハードでした。当時の監督は決して妥協を許さず、やるべきことを最後までしっかりやらせるという指導方針。正月の三が日以外は朝から晩までひたすらバスケ漬けの日々でした。

練習の厳しさから、やめたいと思ったことは、数え切れません。授業が終わる午後3時すぎ、教室で「このまま時計が止まってほしい」と思ったこともありました。ただ、何事も心の持ちようです。特に、バスケットは「習慣のスポーツ」で、シュートやディフェンス練習など、毎日の反復練習が欠かせません。とにかく前向きに、練習に取り組むことを意識していました。

3年夏の全国高校総体県予選は、忘れられません。準々決勝で相手選手と衝突して左足を負傷し、足を引きずった状態で決勝戦に出ましたが、山形中央高に敗れました。チームを引っ張る主将としてベストのプレーができなかったことと、力を合わせて頑張ってきた同級生と、全国大会に出られなかった悔しさが、今でも湧き上がってきます。

体育以外での得意科目は国語でした。数学などはっきりとした答えが出る教科より、文章から心情を読み取ることが好きでした。授業の中で、現代文の先生が「日本人として、村上春樹の本は読んでおこう」と言ったことがありました。それ以降、「ノルウェイの森」や「1Q84」など村上春樹さんの本は意識的に読むようになりましたね。

南高祭では、普段あまり交流のない他校の女子生徒と、校庭でフォークダンスを踊ったのは楽しかったなあ。継承してほしい伝統です。

バスケ部の練習はとにかくきつかったですが、我慢強さや、多少のことで一喜一憂しない精神力を培うことができました。これと同時に、何かをつかむためには汗をかいて努力をしなければいけない、ということを体で学べたと思っています。この経験が現在の自分につながっています。

さとう・まさなり　1991年、高畠町生まれ。東海大学体育学部を卒業後、2014年にBリーグの前身の一つ、NBDLのアースフレンズ東京Zに入団。14～15年シーズンで、ルーキー・オブ・ザ・イヤー（新人賞）を受賞。16年にワイヴァンズに入団。18年3月にはBリーグ通算1000得点を達成している。

学校生活は生徒による自治重視

山形南高の生徒手帳には「我等の心得」と題した学校生活の指針が載っている。生徒が主体的に作成したもので、「我々はいつも山形南高等学校の生徒であることを自覚し」という書き出しで始まる。規定は、学業、礼儀、服装、頭髪など9分野を網羅し、学校生活で生徒による自治を重視するのが山形南高の伝統だ。

生徒会長を選ぶ選挙は毎年9月にあり、立会演説会で候補者が公約をアピール、支持を訴える。また、年2回の生徒総会では、学校に関する多種多様な問題を生徒が議論する。施設の不具合、登下校の交通マナー、自動販売機の設置場所――などテーマはさまざまで、これも、学校の問題に生徒自らが積極的に関わっていこうという自治の姿勢の表れだ。

生徒会は毎年度、スローガンを決める。2018年度は「益荒男」で、生徒の意気を示すように校舎の壁に掲げられている。【浜名晋二】（毎週金曜日に掲載）

生徒総会の様子＝山形南高提供

卒業生「私の思い出」募集

県立山形南高卒業生のみなさんの「私の思い出」を募集します。300字程度で学校生活や恩師、友人との思い出、またその後の人生に与えた影響などをお書きください。卒業年度、氏名、生年月日、職業、電話番号、あればメールアドレスを明記のうえ、〒100―8051、毎日新聞地方部「母校」係（住所不要）へ。メールの場合はshuto@mainichi.co.jpへ。いただいた「思い出」は紙面や、毎日新聞ニュースサイトで紹介することがあります。

ベストセラー　山形市―八文字屋調べ

①ゼロトレ　（石村友見、サンマーク出版）
②おしりたんていみはらしそうのかいじけん　（トロル、ポプラ社）
③おもしろい！進化のふしぎ続々ざんねんないきもの事典　（今泉忠明、高橋書店）
④わけあって絶滅しました。世界一おもしろい絶滅したいきもの図鑑　（丸山貴史、ダイヤモンド社）
⑤英単語の語源図鑑　（清水建二、かんき出版）
⑥下町ロケットゴースト　（池井戸潤、小学館）
⑦ファーストラヴ　（島本理生、文芸春秋）
⑧やまがた百名山　（みちのく書房）
⑨東大ナゾトレ　AnotherVisionからの挑戦状　第6巻　（東京大学謎解き制作集団　AnotherVision　扶桑社）
⑩清原和博告白　（清原和博、文芸春秋）

i 出会いふれあいインフォメーション

同窓会

■熊本県立代高関東地区同窓会　9月15日11時半～14時半　上野精養軒本店（3階桜の間）（台東区・上野駅）男性1万円、女性8000円、29歳まで5000円、学生無料。事務局　後本一幹　042・563・9218

■東京都杉並区立松溪中　創立70周年記念・第1期生、芝祐靖（すけやす）さん雅楽演奏会　9月16日13時半、松溪中体育館　小中高生は無料、大人は1口500円から の寄付。演奏会後はホームカミングデーを開く。実行委、小林一夫03・3391・4529

ふるさと情報

■【長野県諏訪市】第36回全国新作花火競技大会　9月1日19時～20時半、上諏訪温泉諏訪湖畔（JR上諏訪駅から徒歩約8分）。お盆の湖上花火大会と並ぶ諏訪市の花火大会。全国の煙火師が集い、斬新な発想と独自の技術で創作した芸術性の高い新作花火を競う。計1万8000発を予定。有料指定席はローソンチケットやイープラスチケットで購入できる。実行委0266・52・2111

■【栃木市】渡良瀬遊水地フェスティバル　9月2日9時半～16時、渡良瀬遊水地の谷中湖北ブロック子供広場ゾーンなど（東武日光線藤岡駅からバス約10分）。ラムサール条約登録の渡良瀬遊水地で親しまれているレジャー・スポーツを気軽に楽しめる。スカイダイビング、熱気球、グライダー、ウルトラライトプレーン、ヨット、カヌー、Eボートなどに体験搭乗でき、ガイドによる遊水地のミニツアーなどもある。市遊水地課0282・62・0919

■【仙台市】定禅寺ストリートジャズフェスティバル―in仙台　9月8、9日11～20時、仙台市中心部。「本来音楽は野外でやるものだ」と1991年に始まった仙台の秋の風物詩。東日本大震災の後も続き28回目。ケヤキ並木の定禅寺通りを中心に、ジャズ、ロック、民族音楽、ゴスペルなど多彩な音楽を、プロ・アマの800近いバンドが演奏する。同フェスティバル協会022・722・7382

「同窓会」「県人会」「旧友会」の掲載を希望される方は、開催の1カ月前までに資料を〒100―8051（住所不要）毎日新聞地方部遊ナビ係に郵送してください。カット用のイラストや写真も募集中。掲載作は本社電子媒体にも収録します（掲載分には記念品を贈呈）。資料・作品は返却しません。ファクス（03・3212・0483）

「かたつむり親子」茨城県石岡市・太田晃さん